



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

令和8年度 第7号【8月26日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

2学期のスタートにあたって

ゆるやかに2学期が始まりました。長期休業明けの生徒たちが無理なく学校生活のリズムを取り戻せるよう、しばらくの間は午前中授業としています。給食は8月27日（木）から開始し、8月31日（月）からは通常の全日授業となります。

1学期の終業式で、「行ってきます」という言葉には、「行って、無事に帰ってきます」という意味が込められている、という話をしました。生徒たちがそのことを意識してくれたおかげか、夏休み中は大きな事故や怪我もなく、多くの生徒が元気に登校することができました。

始業式の日、校門で生徒たちを迎えていると、久しぶりの登校に少しはにかみながらも、笑顔で元気に挨拶をしてくれる姿が見られました。友達と楽しそうに話をする様子や、教職員に夏休みの出来事をうれしそうに語る姿を見ていると、私自身もとても温かい気持ちになりました。生徒たちがいてこそその学校であることを改めて実感しました。

さて、2学期は1年の中で最も長い学期です。文化発表会、体育大会、合唱コンクールなど、大きな学校行事が数多く予定されています。学級や学年の仲間と力を合わせるだけでなく、学年の枠を越えて協力しながら活動する場面もたくさんあることでしょう。生徒たち一人一人がそれぞれの立場で力を発揮し、自分らしさやよさを存分に発揮してくれることを期待しています。さまざまな経験を通して、大きく成長してくれることを心から願っています。

また、長い休み明けということもあり、学校生活のリズムを取り戻すことに不安や負担を感じる生徒もいるかもしれません。始業式では、「困ったことがあれば相談してください」ではなく、「困ったことになる前に相談してください」と話をしました。小さな悩みや不安のうちに周囲に相談することが、安心して学校生活を送ることにつながります。ご家庭におかれましても、夏休み中のお子さまの様子や、学校生活に関して気になることがございましたら、遠慮なく学校へご相談ください。生徒たちが安心して学校生活を送り、充実した2学期を過ごせるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、このたびの令和8年熊本地震や千葉豪雨の被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。報道を通して伝えられる被害の大きさに胸を痛めています。一日も早く復旧復興が進み、被災された方々が安心して日常生活を取り戻されることを願っています。また、被災地の子どもたちが再び笑顔で学校生活を送ることができるよう、心からお祈り申し上げます。